



株式会社スペースアート

代表取締役 おく い かん じん 奥井 貫人 様

伊勢市小俣町湯田101-3

TEL (0596)22-9422



伊勢法人会会員の皆様、今年の夏も暑かったですね。厳しい残暑も続いていますが、乾いた喉を潤すには冷たいビール！昨晚も煌びやかなネオンサインの誘惑に屈したメンバーも多数いらっしまったのではないのでしょうか。

今回の企業訪問はそのネオンを用いた看板製作会社で有名な、「株式会社スペースアート」さんを訪問させていただき、社長の奥井貫人様からお話を伺いました。

現在誰もが知るところではアサヒ、サントリーさんなど大手飲料メーカーから月平均500台を受注するスペースアートは1999年に設立されました。



実家である看板製作会社「一貫堂」からネオンサイン事業部門を分離し、独立されたのがきっかけです。

以来、得意のネオンを用いた看板を中心にお店の顔を飾る大型看板から、入り口やカウンターに設置するポップ、静電気を観察したりできる真空管などの学習教材に至るまで、本当に多数の作品（アート）を世に送り出しています。

会社の原動力は奥井社長の“探求心と行動力”。お話を伺ってこれに勝るものはない、と痛感いたしました。面白いエピソードをご紹介します。

予てから自分が使用している明かりを灯す真空管のクオリティに疑問を感じていた奥井社長。旅行で台湾を訪れた際に台北市内のネオンサインに心を躍らせました。このネオンはどんな会社で作っているのか、どのメーカーの部品を使用しているのか？その場で細部を観察し製作会社や器具・部品のメーカーを調べたそうです。もちろんこれだけで納得するはずありません。厚かましくその台北の会社に出向き視察。



会員企業訪問 第11回

「先方も突然の訪問にびっくりやったけど、快く迎えてくれたわ！」と涼しいものです。次は器具・部品のメーカーです。アメリカ ニュージャージー州の「EGL社」という世界のトップメーカーでした。



「英語もままならんのに、一人で乗り込んだんさあ〜。」
台北、ニュージャージーには頻繁に足を運びました。専門用語に苦労することは毎度のことで部品の一部が拳銃の弾に間違われてしまって、税関を通過できなかったこともあったそうです。しかし台湾旅行やEGL社との出会いがなければ、間違いなく現在のスペースアートは存在していなかった、と懐かしく語ってくれました。

目標とする人物は後にも先にもお世話になったEGL社のフランク社長。でも今は自分がフランク社長の立場です。親切、丁寧に指導をしていただいた感謝の気持ちを胸に、自社のスタッフ育成、同業他社への技術指導に忙しい毎日です。

看板屋さんの看板商品、「かがり火照明」を紹介していただきました。かがり火、囲炉裏、暖炉やたいまつなどを表現するユニークな照明です。“安全性”、“ローコスト” & “屋外使用、悪天候に強い”に徹底してこだわり、2010年（平成22年）特許も取得いたしました。これまでのネオン、LEDでは実現不可能であった炎の揺らめきや光を表現できる照明です。身近な所では伊勢神宮の祭事や近鉄宇治山田駅、全国展開している居酒屋チェーンさんなどで使用されています。



ホームページ (<http://www.spaceart.co.jp/>) も充実していますので、興味のある方はぜひチェックしてください。



七夕の7月7日、本当に蒸し暑い日の企業訪問でした。しかし奥井社長のお話は当日の気温より別の意味で熱く、爽やかで心地よい企業訪問となりました。

奥井社長、貴重なお時間ありがとうございました。

《インタビュー出席者》

広報委員会 村田典子委員長、柴原昇副委員長
海見泰弘委員、荒木瞳担当副会長

